臺灣日日新報 昭和十八年十一月二十一日（木曜日） 第一万五千六百九十六號 （一）
（第二期）（昭治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

炎上大破の戰艦撃沈
巡洋艦等四隻を撃破
戰果に追加
ブ島の戰果に

【東京發至急報】大本營發表（十一月十日十五時）第二次ブーゲンビル島沖航空戰の戰果に左記を追加す

撃沈　戰艦一隻（既報撃破　戰艦一隻―炎上大破―とありしもの）

撃破　大型巡洋艦三隻大破、巡洋艦（若くは大型驅逐艦）一隻

撃墜　三機

我が方の損害　自爆未歸還五機を加へる

撃沈十二、撃破十一
總合戰果の大戰果

【東京發】十日大本營は第二次ブーゲンビル島沖航空戰の追加戰果を發表したが、これを九日發表の戰果に加算すると第二次ブーゲンビル島沖航空戰の綜合戰果は次の如き驚異的數に達する

撃沈　戰艦四隻、巡洋艦二隻（轟沈）驅逐艦二隻、輸送船四隻

撃破　大型巡洋艦六隻（大破）巡洋艦（若くは大型驅逐艦）四隻（炎上大破）大型輸送船一隻（炎上大破）

我が方の損害　自爆未歸還二十機

驚異的今次の大戰果

【東京發】十日午後三時の發表

撃沈　戰艦二隻、巡洋艦二隻、驅逐艦二隻、輸送船四隻

撃破　大型巡洋艦六隻、巡洋艦（若くは大型驅逐艦）四隻

撃墜　十五機

我方の損害　自爆未歸還二十機

皇國海鷲の精華顯現
南太平洋艦隊潰滅す

【東京發】去る十月二十七日のその一ノ部隊の敵艦撃滅に際してはわが戰闘機隊の獅子奮迅の活躍により敵艦隊は全滅に近い潰滅的打撃を受けて敵ブーゲンビル島沖航空基地に逃げ歸つたが、この際わが海鷲の生還を期せる必死の猛撃に怖れ驚いた敵艦隊は、その後ブーゲンビル島沖航空基地に引き籠つたまま出撃せず、わが方の攻撃に對しても全く手も足も出ない狀態にあつたが、十一月一日ブーゲンビル島南方海面に敵艦隊の出現を見るや、わが海鷲は直ちに敵艦隊を捕捉撃滅すべく勇躍出撃、敵艦隊に對し猛攻を加へ、その大半を撃沈破した

社說

一期米生産割當決定

生産目標四百卅四萬石

大戰果

豫祭濟以來の

排水路大改修

彰化水利組で

水と服裝について

時局包裝展覽會

島內主要都市・商議所で主催

金融非常施策

府情報課報發張

獨立問題動く

對支侵略への野望

タイデング・マグダフイ法

對支侵略への野望

砂糖公價改訂さる

戰時食糧品の本質へ

空襲下金融對策成る

預金の支拂停止絶體なし

臺灣貿易會は解消

再製茶館の統合必至

新高港都市計畫懇談會開催

臺灣蕉作研究總會

混合飼料最高販賣價格改訂

竹葉部中小商工業再編成促進協議會

市況

癩救療資金御下賜
有難さ御仁慈に一億感泣
堀內南軍中佐
獅子吼
大東亞に感激
銃火も笑撃
竹竹竹の切り竹
强權進軍期間
今日の映画
工員募集
決戰の大空へ
頭痛不眠に
一刻もゆるがせに出來ないとき！
高血壓中風は
ニッケ生命
カオール
原料香水
カリヂナル

癩救療資金御下賜

有難き御仁慈に一億感泣

皇后陛下

皇太后陛下

米英鬼を叩き殺す
盡忠滾る高砂魂

川上一等兵郷土社葉へ　烈々たる初便り

相踵ぐ南の戰果に感激
海の勇士に慰問帳

臺北一高女生か　臺北海軍武官府へ

兵隊さん有難たう
戰果に湧く山の獻金美談

輝く戰果に應へ
誓って戰力增強

優渥なる御言葉賜ふ
深き感銘・終生忘れ得ぬ
ボース氏・最後の勝利を誓ふ

天皇陛下に謁見

學徒激勵へ
特別志願に獻身協力

敵陣へ突入する○○部隊勇士

增產の尖兵長たれ
江藤知事、增產助成懇談會で激勵

農林關係勤勞者表彰
廿三日、來月十日に擧行

自主的實行を勸奬
本年中の實現期待
大學統合問題

花蓮港青少年團幹部錬成會

臺灣文學會議
地方議員決る

臺北商奉團改組初總會

剛膽を見こまれ
上官の令嬢に

臺中州水產懇談會

防空訓練
新竹國民校兒童の敢闘

臺灣山宗商事株式會社

興亞製鋼株式會社

工員募集

工務員募集

新竹秋競馬

臺灣時報

臺灣映畫月報

新竹の映畫

今日の映畫

本島同胞學徒の出陣に關し懇談會

國民體力增強
保健所設置を急ぐ
臺北州で保導綜合集談

花蓮港廳地下資源開發協議

近藤參謀長

脳の病

再發防止法

大和櫻が見たい
友好關係に努力

門松は質素に
皇奉本部地方に通牒

勇躍せよ半島學徒
總蹶起を望む

醫師産婆も戰闘配置へ
花蓮港で敎授打合

中國軍學視察團入京

川上等兵の手紙

部隊へ長手紙

鐵屑回收賣上金を獻金
瑞芳街から二千圓

敵陣へ突入する○○部隊勇士

公告

謹告

學徒に燃ゆる戰場の華

敵機撃墜の夢に眠れず
海軍練習生に合格の板鼻歲昭君

【屏東】今次の少年の決起に日も早く続かんと志願者殺到の折柄屏東農校から二十五名の應募者を見たが其の中から名譽ある第四回海軍乙種飛行豫科練習生に合格の榜示を受けて勇躍入隊をする板鼻歲昭君（一五）は昨年の春父君を喪ひ母君の手一つで育てられた少年で入隊に際し母君に對して「お母さん僕は必ず海軍航空兵になつて國のため天皇陛下のために働きますから決して心配しないで下さい」と涙ながらに語つたといふ

必勝の確信も固く
敢然續く學友

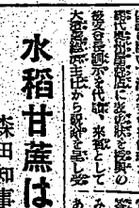
海軍乙種飛行豫科練習生に　屏東農校から二十五名應募

【屏東】四月末を一杯の應募期日として海軍乙種飛行豫科練習生の募集が開始されて以來屏東農業學校では校長以下全職員が一丸となつて熱心に勸誘に當つたが大東亞戰爭の決戰段階に入つた今日學徒の胸には必勝の確信と敢然續く學友の後を追ふ意氣に燃えてゐるものがあり應募者は續出し遂に定員の二倍以上の二百五十名に達したが身體檢査の結果二十五名の入團者を見るに至つた

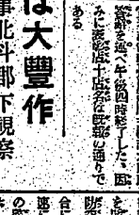
一日も早く第一線へ
米英必滅に燃ゆる
高雄商業の大八木榮三君

【高雄】大東亞戰の決戰として戰果擴大の不斷の攻撃を續行する皇軍の勇士を慰問激勵する爲に十月二十一日から二十三日迄三日間に亘つて全國一齊に展開された學徒體育大會の壯擧に應じ高雄市内の各學校でも二十一日午後一時から高雄中學校運動場に於て高雄商業學校主催の下に盛大な體育大會が開催されたが當日は朝來の雨も午後一時頃には上り絶好の運動日和となつたので市内各學校の生徒は續々と參集し午後一時半から開會式が擧行された

兄さんに負けるものか
海鷲合格の梶田和夫君



【屏東】海軍を目ざしての學生達のうちの一人梶田和夫君（一五）は昨年父君を喪ひ母君一人の手で育てられ今春屏東農業學校に入學したが入學後も常に兄さんに負けるものかと勉學に運動に一生懸命に勵んでゐたが今回海軍乙種飛行豫科練習生に合格の榜示を受けるや喜びの餘り母君に對し「お母さん僕は必ず海軍航空兵になつて國のため天皇陛下のために働きますから決して心配しないで下さい」と涙ながらに語つたといふ



【屏東】梶田和夫君は兄さんに負けるものかと屏東農業學校に入學したが入學後も常に兄さんに負けるものかと勉學に運動に一生懸命に勵んでゐたが今回海軍乙種飛行豫科練習生に合格の榜示を受けるや喜びの餘り母君に對し「お母さん僕は必ず海軍航空兵になつて國のため天皇陛下のために働きますから決して心配しないで下さい」と涙ながらに語つたといふ

赤十字精神の普及
無料診察等
新竹州各種の行事實施

【新竹州】赤十字デー「赤十字日」は十月廿五日から三日間全國一齊に擧行されるが新竹赤十字分部では十一月十日から三日間に亘つて左記の如く無料診察を實施する

商業奉公の
商店を表彰
商率園宣購支會で

【新竹】新竹市商業奉公會主催の商業奉公實踐商店の表彰式は十月廿五日午後一時から市内北門町商率園宣購支會事務所に於て擧行

臺南桔梗倶樂部の陣容强化

【臺南特電】臺南市一流人士の會合の一つ桔梗倶樂部では今回陣容を强化し會員を增加する事に決し十月廿五日から十一月三日迄の一週間を入會期間と定め入會金五十圓を納入會員を募集する事に決した

徴兵號は何臺でも溢れる熱誠
殘定突破の嘉義郡下

【嘉義】嘉義郡下に於ける第二次徴兵檢査は十月廿五日から十一月三日迄一週間に亘り嘉義市公會堂を檢査場として實施されたが

增產の士氣を鼓舞
東石郡歌を制定發表

【東石】東石郡下の農民を一丸とする增產の士氣を鼓舞せんとする郡當局の意圖に應へ郡下の各界各層の代表者が集つて郡歌の制定を協議した結果左の如く決定した

ナント十八萬餘匹
增產の敵野鼠
東石郡捕捉動員の戰果

【東石】東石郡下に於ける野鼠の跳梁は農作物に多大の被害を與へてゐるが郡當局では之が驅除に關し去る十月廿一日から三日間に亘つて郡下一齊に野鼠捕捉動員を實施したが其の戰果は左の如く十八萬餘匹の多數に上つた

水稻甘蔗は大豐作
森田知事北斗郡下視察
敢闘する土の戰士激勵

【北斗】總督府農務課の嘱託として管内農事改良の爲め指導に當つてゐる森田知事は十月廿一日から二日間北斗郡下の

夕刊 臺灣新民 昭和十八年十一月十一日 木曜日 第一万五千六百九十六號 臺灣日日新報社 昭和十八年十一月十一日 木曜日 (第二期) (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可)

聯合艦隊司令長官に 畏し 勅語を賜ふ

海鷲の殊勲を嘉せらる

【東京發至急報】大本營發表 (昭和十八年十一月十一日十二時三十分)

大元帥陛下には本日海軍軍令部長を召させられ聯合艦隊司令長官に對し左の勅語を賜りたり

勅語

聯合艦隊航空部隊ハ今次ソロモン海域ニ於テ勇戰奮闘大ニ敵艦隊ヲ撃破セリ 朕深ク之ヲ嘉ス 惟フニ同方面ノ戰局ハ益多端ヲ加フ 汝等益奮勵努力以テ朕カ信倚ニ副ハムコトヲ期セヨ

半永久的敵陣破砕

霧氛河を強行渡過

今次中支那新作戰の華

七十九軍殲滅戰高潮

巴山山系に敗敵を壓迫

大東亞會議傍聽記 (下)

聖なる美しい友愛

相互理解の情に終始す

六百五十萬總親和 戰力增強に體當り

長谷川報道けふ上京 記者團を引見語る

頻被りは常套手段

井口情報官 米の煙幕發表を指摘

米、敗戰糊塗に苦心

督府十九年度豫算案

査定を完了けふ内示か

完璧こそ戰勝の基

國民の敢闘精神強調

陸鷲敗敵を追つて猛爆

防備完璧の歐洲要塞

反樞軸軍の侵寇は至難

劃期的な國際會議

汪精衞主席談話發表

新政府歸屬を宣誓

南部佛印在住イタリア人

七十九軍殲滅戰高潮

巴山山系に敗敵を壓迫

長陽を奇襲爆撃

印度東部國境を荒鷲痛爆

天皇陛下御答電

滿洲國皇帝陛下に御發送

重光外相參內

江南秋季作戰

大東亞會議 各國代表の記念撮影、向つて前列右より

ワンワイ泰國代表、東條首相、汪中華代表、張滿洲國代表、バーモウ ビルマ代表

讃ふ無敵海軍

感激を増産にあらはせ

山本農商農務総長「大戦果に應へよ」と叫ぶ

打ちつづくアーゲンビル島沖航空戦の大戦果に、我が國民の感激は不敗の信念ないよいよ加へて来ましたが、これに関聯して、國民各位の銘肝すべき重大事は、去る二日の大戦果発表直後、ラジオにおいて軍人、官吏に対する特別大増俸を辛じて自制してゐるといふ有様でありまして、この様な感激興奮の裏には、敵撃滅の翼に対する一段の熱意と、戦争は最後の勝利に至るまで、いかなる困難にも屈せず、断じて戦ひ抜くといふ不動の決意とが、ひしひしと感ぜられるのであります。勿論これは

山本農商農務総長

戦争に勝つ為には、国民全体が、あらゆる犠牲を払ふことを辞さないといふ覚悟が必要であることは申すまでもありませんが、特に農業生産に関しましては、戦争の長期化に伴ひ、愈々その重要性を加へて来たのであります。即ち、戦争の遂行上、食糧の確保が如何に重要であるかといふことは、今更申すまでもありませんが、食糧の増産は、ただ単に食糧の問題だけではなく、軍需原料の問題でもあり、又、船舶の問題でもあるのであります。

即ち、食糧の増産は、軍需原料の増産であり、又船舶の増徴であるのであります。

従来、農業生産の増強に関しましては、あらゆる施策を講じて参りましたが、今後は、更に一段の努力を拂ひまして、戦争の最後の勝利を確保するために、あらゆる困難を克服して、食糧の増産に邁進しなければならないのであります。

農業従事者の諸君は、戦争の最後の勝利を確保するために、あらゆる困難を克服して、食糧の増産に邁進しなければならないのであります。

兵學一如に精進す

永井第門教育局長　決戦學徒の相貌語る

【東京發】軍官學校の入校生予定一万名内外の第一回學徒出陣組が、十二月一日一斉に入校するに先立ち、十一月一日現在で、各學校が出陣學徒の入隊期日を繰上げて、出陣學徒の在籍数を調査したが、これによると、全國の學校在籍者数は、大東亜戦争開始前の昭和十六年五月一日現在の調査に比べ、約三分の一に減少してゐるが、この減るべき學徒數の上に、今回の第一回出陣學徒数がどれ位になるかといふことは、目下文部省學校教育局で調査中であるが、大体の概数としては、約三十万名位になるものと見られてゐる。

この三十万名の學徒が、一斉に入隊するとすれば、全國の學校在籍者数は、約半減することになるが、永井學校教育局長は、この点について、

「出陣學徒の入隊期日は、一応十二月一日から翌年三月末日までの間に、各學校毎に繰上げられることになるが、入隊期日の繰上げは、各學校毎に、その學校の教育内容、教育施設、教官の数、學生の数等を考慮して、各學校毎に決定されるから、全國の學校在籍者数が、一斉に減少するといふことはない。

出陣學徒の入隊期日が、各學校毎に異なるのは、學校教育の特殊性に基くものであるが、出陣學徒の入隊期日が、各學校毎に異なるといふことは、學校教育の特殊性を考慮するといふことであるから、學校教育の特殊性を考慮するといふことは、學校教育の内容を考慮するといふことであり、學校教育の内容を考慮するといふことは、學校教育の目的を考慮するといふことである。

出陣學徒の入隊期日が、各學校毎に異なるといふことは、學校教育の目的を考慮するといふことであるから、學校教育の目的を考慮するといふことは、學校教育の目的を達成するといふことである。

學校教育の目的を達成するといふことは、學校教育の目的を達成するといふことであるから、學校教育の目的を達成するといふことは、學校教育の目的を達成するといふことである。

出陣學徒の入隊期日が、各學校毎に異なる